



# まし埋やちよ

No. 46

千葉県八千代市  
埋蔵文化財通信

2022. 7.15  
(令和4年)

## 令和3年度を振り返って

本号では、令和3年度の事業内容についてご報告します。

### 発掘調査事業

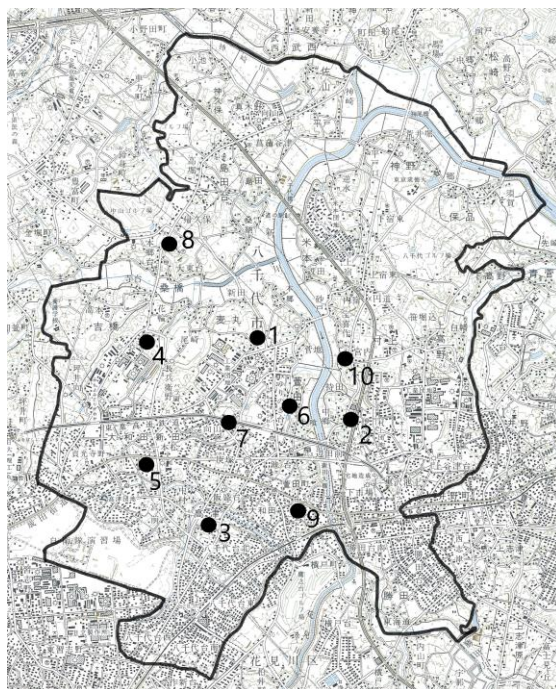
17 遺跡 18 地点の確認調査と 2 遺跡の本調査を行い、民間調査組織による調査も 1 遺跡行われました。個々の調査概要は次頁の表や図を参照してください。

### 整理事業

令和2年度に調査した、市内遺跡確認調査 10 遺跡 11 地点及び上の山遺跡 d 地点の本整理、天神遺跡 a 地点の本整理を行い、それぞれ発掘調査報告書を刊行しました。

報告書刊行の令和2年度調査分の市内遺跡では、麦丸遺跡 k 地点、殿内遺跡 j 地点、内込遺跡 f 地点で竪穴建物跡等の遺構が見つかりました。このうち麦丸遺跡 k 地点については、確認・本調査として縄文時代の土坑 1 基を調査し、成果を掲載しています。殿内遺跡 j 地点については令和2年度に本調査が行われ、さらに一部は現状保存されています。竪穴建物跡 1 棟が見つかった内込遺跡 f 地点は現状保存され、今も地面の下には遺跡が眠っています。

また、七百余所神社古墳については、その保存を目的として、測量図の作成及びトレン



市内遺跡発掘調査報告書掲載遺跡

1 麦丸遺跡 2 殿内遺跡 3 内込遺跡 4 内野遺跡 5 高津梅屋敷遺跡 6 北海道遺跡 7 向山遺跡 8 作ヶ谷津庚申塚 9 小板橋遺跡 10 七百余所神社古墳

※番号は地図の番号と対応

チによる調査が行われています。

遺構が検出されなかった殿内遺跡 i 地点、内野遺跡 c 地点、高津梅屋敷遺跡 f 地点、北海道遺跡 b 地点、向山遺跡 j 地点、作ヶ谷津庚申塚、小板橋遺跡 k 地点についても、調査成果を掲載しています。

以下、報告された中から、特筆すべき成果等について触れていきたいと思えます

令和3年度 確認調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査概要	備考
こいたばし 小板橋遺跡l地点	5/6～5/11	55.6/523.84	遺構・遺物なし	
もちだ 持田遺跡f地点	5/14～5/17	23.8/334.09	奈良・平安時代土師器, 中近世陶磁器	
うちのみなみ 内野南遺跡k地点	5/24～5/28	64/769	縄文時代ピット1基, 縄文土器・磨製石斧等	
しらほたまえ 白幡前遺跡i地点	5/24～6/3	149.9/1663.57	縄文時代陥穴1基・竪穴建物跡1棟, 奈良・平安時代土坑2基・竪穴建物跡5棟, 縄文土器・石皿, 奈良・平安時代土師器・須恵器	一部現状保存, R4本調査予定
よなもとへただい 米本辺田台遺跡c地点	7/5～7/13	144/1441.93	中近世土坑13基・溝3条,, 中近世土器・陶器	R4本調査予定
なかにし 仲西遺跡b地点	7/14～7/21	104/1009.01	遺構・遺物なし	
きやまかいづか 佐山貝塚d地点	8/12～8/26	173.5/1400	縄文時代後期竪穴建物跡6棟, 弥生時代方形周溝墓1基, 縄文土器・磨製石斧, 弥生土器	現状保存
にしやま 西山遺跡d地点	8/26～8/31	30/289.63	遺構・遺物なし	
しんでんたい 新田台遺跡b地点	10/4～10/12	40/420	時期不明溝1条, 弥生土器, 奈良・平安時代土師器	
つばきやま 椿山遺跡a地点	10/14～10/29	278/3100	奈良・平安時代竪穴建物跡4軒, 中・近世溝3条・地下式坑3基・土坑3基, 奈良・平安時代土師器, 中近世土器・陶磁器	R4本調査予定
ひらさわ 平沢遺跡f地点	11/8～11/15	98/960	弥生土器	隣接するc地点と併せて本調査
うえやま 上の山遺跡e地点	11/16～11/18	24/262	時期不明溝1条, 奈良・平安時代土師器	
かつたのおおさく 勝田大作遺跡g地点	12/6～12/23	340/3956.64	奈良・平安時代竪穴建物跡3棟・掘立柱建物跡1棟, 奈良・平安時代土師器・須恵器, 中近世陶磁器	一部現状保存, R4本調査予定
ほしなみなみ 保品南遺跡d地点	12/17～12/27	44/496.69	古墳時代土師器	
かんのうまえはた 桑納前畑遺跡c地点	1/12～1/19	5.5/75	奈良・平安時代土師器・須恵器	
しらほたまえ 白幡前遺跡j地点	1/25～1/31	56/584	時期不明溝2条	
どうち 道地遺跡k地点	3/8～3/16	40/400.74	古墳時代竪穴建物跡2棟, 古墳時代土師器	現状保存
よなもとじょうあと 米本城跡c地点	3/3～3/15	190.5/2048.19	中近世掘立柱建物跡2棟・土坑11基・地下式坑4基・土塁1条等, 中近世陶磁器	R4本調査予定

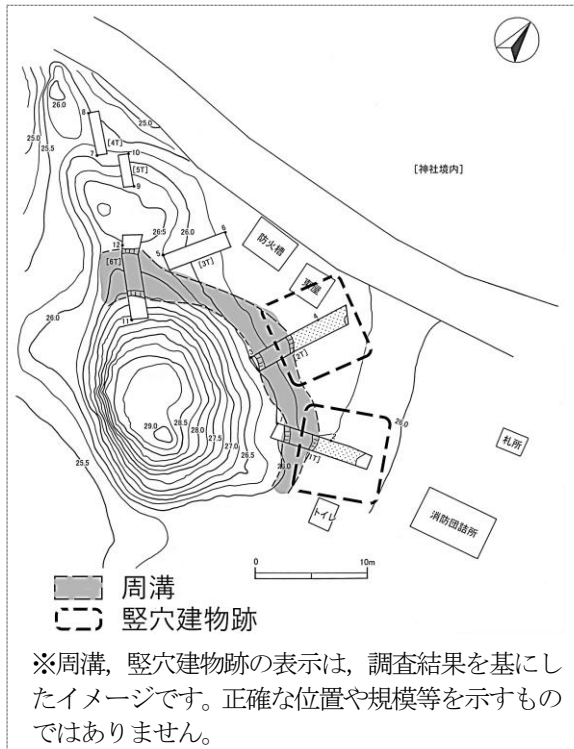
令和3年度 本調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査概要	備考
白幡前遺跡i地点(第1次)	9/1～10/28	320	縄文時代陥穴4基, 奈良・平安時代ピット5基・溝3条, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器	
平沢遺跡c・f地点	1/11～2/10	165.5	弥生時代竪穴建物跡1棟, 旧石器時代石器剥片, 縄文土器, 弥生土器, 古墳時代土師器	
しまだこめうち 島田込の内遺跡d・e地点	6/22～9/21	5,700	旧石器時代石器類集中地点2か所, 縄文時代竪穴建物跡1棟, 陥穴2基, 奈良・平安時代竪穴建物跡36棟, 掘立柱建物跡11基, 土坑30基, ピット55基, 中近世溝2条, 旧石器時代石器類, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器, 須恵器, 鉄器	

令和3年度 刊行報告書一覧

書名	主な内容	刊行年月日
市内遺跡等発掘調査報告書	令和2年度に実施した市内遺跡確認調査10遺跡11地点 遺跡名は本文参照	令和4年3月30日
公共事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅷ 吉橋新山遺跡a, b地点 内野南遺跡j地点 天神遺跡a地点	天神遺跡a地点において, 縄文時代炉穴21基, 奈良・平安時代竪穴建物跡3棟, 中世竪穴状遺構3基, 地下式坑3基, 土塁1基, 溝6条等	令和4年3月30日
上の山遺跡d地点 一宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	縄文時代陥穴3基, 弥生時代竪穴建物跡6棟, 古墳時代竪穴建物跡1棟等	令和4年3月31日

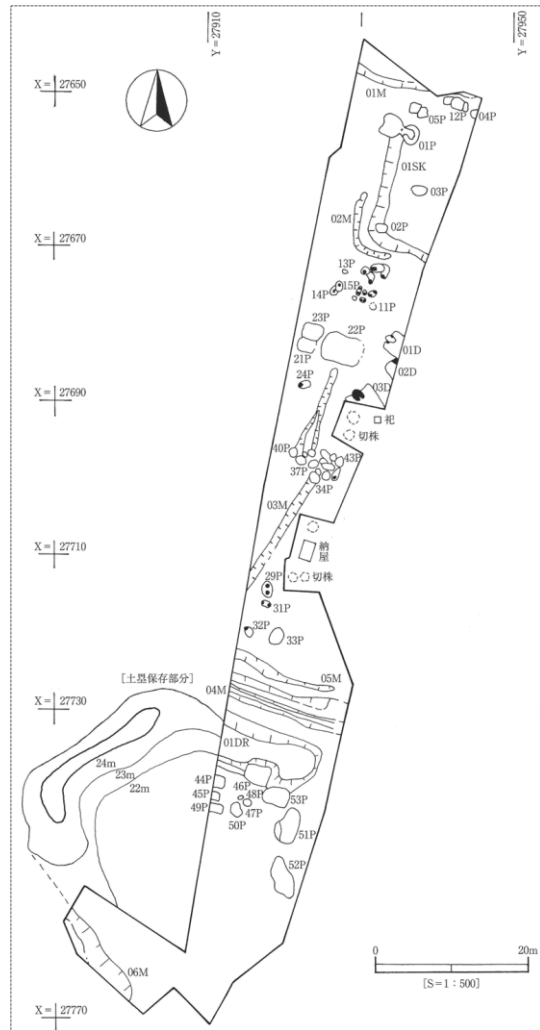
保存を目的として確認調査が行われた七百余所神社古墳では、測量と墳丘の裾部分にトレンチを入れる限定的な調査ながらも、多くの成果を得ることができました。これまで円墳といわれているだけで詳細は不明でしたが、この調査により古墳の周りに掘られる溝（周溝）が見つかったことと、古墳時代前期の竪穴建物跡を壊して古墳が造られていることもわかりました。



七百余所神社古墳トレンチ配置図

急傾斜地崩壊対策事業を原因として行われた天神遺跡 a 地点の主な成果として、縄文時代早期後半（約 7000 年前）の炉穴（穴を掘って、煮炊き等で火を焚いた跡）が 21 基見つかり、調査した場所が台地の東端部分であることから、調査した範囲の外である西側の台地上にも炉穴群が広がる可能性があります。また、この場所は台地の北と南の端に溝が掘られ、南側に土塁を巡らせて防御力を高めた中世戦国時代の城館跡であることもわかりました。溝と土塁で囲まれた中には、台地を削り整形した跡や倉

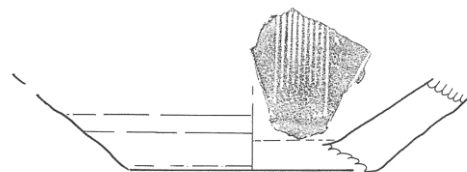
庫と考えられる地下式坑や竪穴状遺構等が見つかり、出土品も内耳土鍋や播鉢等の生活用品のほか、中国産の青磁等も見つかり、地域の拠点としてこの場所が利用されていた様子が窺えます。



天神遺跡 a 地点遺構配置図

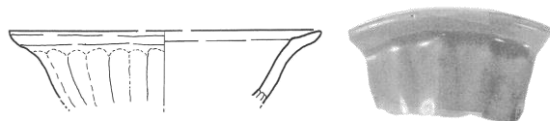


内耳土鍋

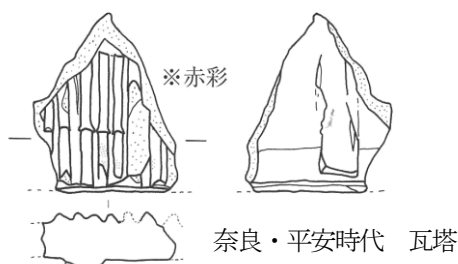


播鉢

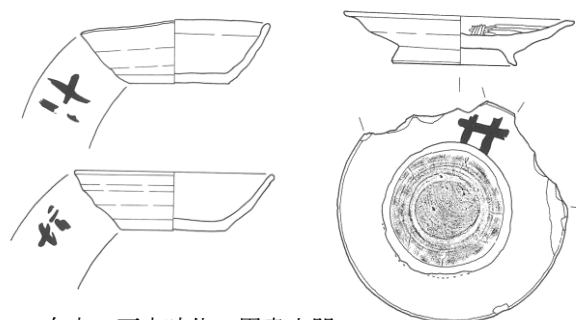
他に、奈良・平安時代の竪穴建物跡も見つかっており、墨書土器や、遺構外からではありませんが、瓦塔（焼き物で作られたミニチュアの五重塔など）の破片も見つかっています。



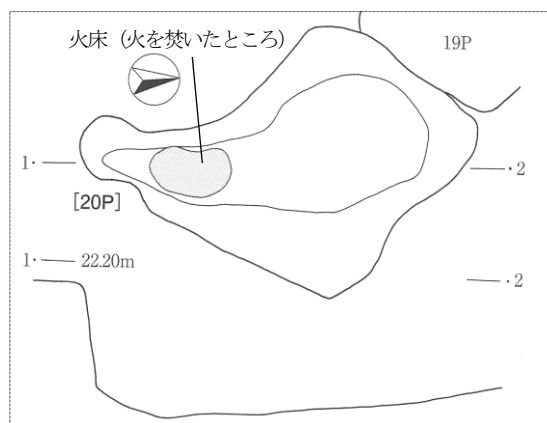
せいじねんべんもんくちおりざら  
青磁蓮弁文口折皿



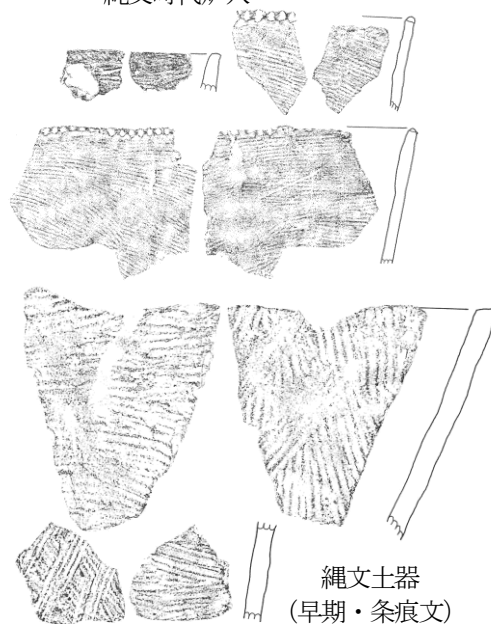
※赤彩  
奈良・平安時代 瓦塔



奈良・平安時代 墨書土器



縄文時代炉穴



縄文土器  
(早期・条痕文)

天神遺跡 a 地点出土遺物

宅地造成を原因として行われた上の山遺跡 d 地点の調査では、過去 3 地点の調査と同様に弥生時代の竪穴建物跡が見つかりました。これまでの調査では、それぞれ 1～2 棟しか見つからず、まばらな様子でしたが、今回の d 地点では、6 棟が近い位置でまとまって見つかりました。見つかった位置などを考えると、まだ調査されていない東側でも竪穴建物跡が見つかる可能性があります。さらに、縄文時代の動物等を捕るための陥穴や古墳時代の石製模造品というお祭りの道具を作っていたと考えられる竪穴建物跡もこの遺跡では初めて見つかりました。

### 普及・啓発事業

令和 3 年度は展示会の開催はしませんでした。多くの市民の皆様に出土文化財をご覧いただけるよう、教育委員会庁舎内における展示の充実を行っています。

埋(まい)やちよ No.46

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

令和 4 年 7 月 1 日

編集・発行 八千代市教育委員会



やっち

文化・スポーツ課文化財班

八千代市大和田 138-2

☎276-0045 047(481)0304